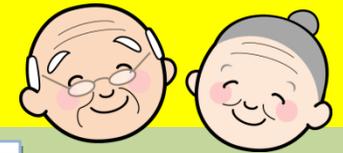


自律型健康増進・生活支援のための地域サポート技術の開発検証

研究代表者：小笠原 克彦 研究期間：平成24年度～平成25年度

対応すべき地域課題：超高齢化地域（高齢化率:30%）、寒冷豪雪地域（特別豪雪地域）、地域医療環境の悪化（無医地区）
ICTによる地域振興： 無医地区に対する健康支援、コミュニティ協働による生活サポート、単身高齢者の見守り

研究目的 地域住民を支援する次世代遠隔健康相談システムの開発
行政を支援する健康情報クラウドの可能性の検討



H24 年度の実績

- (1) 単身高齢者を対象とした健康・生活ニーズの調査
- (2) 次世代遠隔健康相談システムの開発
- (3) コミュニティ健康情報クラウドの調査



平成24年岩見沢豪雪

H25 年度の予定

- (1) 次世代遠隔健康相談システムの開発と実証実験
- (2) コミュニティ健康情報クラウドの検討-岩見沢市との連携

検診情報・お薬情報・健康情報の一元管理

標準化されたフォーマットによる医療機関との効率・効果的な情報連携

遠隔地での健康情報の閲覧（遠隔見守り）



遠隔健康相談風景

効果・意義

健康サポート

ユビキタス健康情報・自己採血検査による健康への意識改革
検診情報・お薬情報・健康情報による効果的な健康指導
遠隔健康指導による健康維持・増進

生活サポート

遠隔による単身高齢者に対する安否確認・緊急対応

